

第90回キリスト教音楽講習会 礼拝を“歌おう”

会期 2018年8月21日(火)～23日(木)

主会場 日本キリスト教団会議室(東京都新宿区)

主催 日本基督教団讃美歌委員会

協賛 キリスト教学校教育同盟

楽器提供 株式会社河合楽器製作所

株式会社ヤマハミュージックジャパン
パックスアーレン株式会社

キリスト教音楽講習会は、会衆賛美をはじめとする教会音楽に関わるすべての方々に開かれています。

1928年7月に基督教音楽聯盟主催で行われた「基督教音楽講習会」が、キリスト教音楽講習会のはじまりです。ちょうど『讃美歌』(1931年)が準備されていたころ、新しい歌をうたい広めていくための講習会としてスタートし、以来、それぞれの時代の「新しい歌」をうたうこと、声を合わせて神さまを賛美することを大切にしてきました。奏楽者や聖歌隊指導者などの「教会音楽家」だけでなく、礼拝で賛美歌をうたうすべての方々にご参加いただける講習会です。

お問い合わせ

キリスト教音楽講習会事務局(日本キリスト教団出版局内)

TEL. 03-3204-0425 FAX 03-3204-0627 e-mail hymn3@bp.uccj.or.jp

申込締切 7月31日(火)

「全日程受講」の方は、下記「プログラム」全てが講習の内容です。実技、ゼミからそれぞれ1つずつ選び、3日間同じクラスを受講します。

「ゼミのみ受講」の方は、ゼミを1つ選び、3日間同じクラスを受講します。「全体レクチャー」は当日券の半額(1,000円)、「昼食会・90回のふりかえり」は2,000円(要事前申し込み)で参加できます。

合唱のたのしみ

2017年末に逝去された賛美歌作曲家・小山章三氏の教会合唱作品に取り組みます。
指導：飯靖子

全体レクチャー

賛美歌をうたう・
賛美歌を弾く

日時：8月21日(火)

17時～18時30分

担当：本講習会講師

Hymn Festival

たくさんの賛美歌を共にうたい、喜びを分かち合います。

日時：8月22日(水)

17時15分～18時30分

※17時よりプレトーク

ゼミ

①祈りのことばを考える (井上創)

礼拝や集会で会衆の代表で祈る時、いつも決まった内容を祈っていませんか？ その場面にほんとうに必要な内容を祈っていますか？ それぞれの場面にふさわしい祈りの言葉、祈るべき内容について考え、実際に祈り文を作成します。テキスト：『主日礼拝の祈り』(越川弘英・吉岡光人編、日本キリスト教団出版局)

②奏楽者と会衆が共に学ぶ賛美歌の息づかい (飯靖子)

奏楽をする上で最もたいせつで、最も難しいのは、賛美歌の伴奏です。奏楽者が会衆を適切にリードするにはどうすればよいか、また、会衆が奏楽者のサインを感じ取って歌うにはどうすればよいか。奏楽者と会衆がお互いの「声」に耳を傾けて、共に学びます。

③賛美歌伴奏の可能性を探る (竹佐古真希・椎名雄一郎・志村拓生・松浦光子)

賛美歌集の「この歌集の使い方」や「凡例」をじっくり読んでみましょう。『讃美歌21』も『讃美歌』(1954)も、「異なる和声づけ」「オルガニストの自由な即興」など、「書かれた音符どおり」ではない伴奏を認めています。それぞれの講師のスタイルから、賛美歌伴奏の多様性を学びます。

プログラム

	8月21日(火)	8月22日(水)	8月23日(木)
9:00	受付		
	開会礼拝		
10:00	オリエンテーション		
11:00	実技	実技	実技
12:00			
13:00	昼食	昼食	昼食会 90回のふりかえり
14:00	ゼミ	ゼミ	
15:00			ゼミ
16:00	合唱のたのしみ	合唱のたのしみ	
17:00			閉会礼拝 公開(席上献金あり)
18:00	全体レクチャー 公開(当日券あり)	Hymn Festival ※17時よりプレトーク 公開(入場無料)	
19:00	夕の祈り	夕の祈り	

I オルガン（飯靖子・椎名雄一郎・竹佐古真希・松浦光子）※講師は選べません。

aパイプオルガン／bリードオルガン

21日は合同で座学を行います。パイプオルガンのレッスンは、阿佐ヶ谷教会、吉祥寺教会、日本福音ルーテル東京教会のいずれかでいきます。

【課題】 a, b共通です。以下の3つのコースから1つ選択してください。受講する曲は8月10日までに音楽講習会事務局へ必ずご連絡ください。

〈信仰コース〉 ①②からそれぞれ1曲以上。

①『讃美歌 21』から賛美歌を選び、会衆が歌えるテンポで弾く。既存の伴奏と自分でアレンジした伴奏を、それぞれ1節分以上用意すること。

②主日礼拝の前奏にふさわしい奏楽曲。必ず①で選んだ賛美歌にもとづく奏楽曲を選曲すること。自分で編曲したものでもよい。

〈希望コース〉 ①②からそれぞれ1曲以上（下記の曲集はすべて日本キリスト教団出版局刊）。

①『讃美歌 21』から賛美歌を選び、会衆が歌えるテンポで弾く。『讃美歌 21』に掲載されている伴奏だけでなく、『こどもさんびか改訂版』（伴奏用）、『讃美歌 21 による賛美歌伴奏曲集』シリーズ（志村拓生・編）などの伴奏や、自分でアレンジした伴奏でもよい。

②以下の曲集に掲載されている奏楽曲。①で選んだ賛美歌にもとづく奏楽曲であることが望ましい。

・『讃美歌 21 による礼拝用オルガン曲集』1～6巻（オルガン曲集 No. 31～36）

・『オルガン・コラール小品集 現代作曲家による』（オルガン曲集 No. 25）

・『やさしい礼拝用オルガン曲集』Ⅰ～Ⅲ（オルガン曲集 No. 38～40）

〈愛コース〉 ①②からそれぞれ1曲以上（下記の曲集・雑誌はすべて日本キリスト教団出版局刊）。

①『讃美歌 21』『こどもさんびか改訂版』（伴奏用）から賛美歌を選び、会衆が歌えるテンポで弾く。歌集の楽譜に記載されている音符を全部弾く必要はなく、「メロディ+バス」「メロディだけ」など、各自の力量に合った方法で弾いてよい。

②以下の雑誌、曲集に掲載されている奏楽曲。

・『礼拝と音楽』178号（2018年7月発行）「歌おう使おう 21」

・『こどもさんびか改訂版』（伴奏用）181ページ以下

II 聖歌隊指導（植木紀夫）

下記の課題曲から1曲以上を選曲してください。選曲者が指揮法を学びクラス全員で歌いますので、自分の受講曲以外にも目を通してきてください。④⑤⑥の楽譜は申し込み後に送付します。

※賛美歌タイトルの前の数字は『讃美歌21』の番号です。

①258 まきびとひつじを

④Z. コダーイ「久しく待ちにし」

②351 聖なる聖なる

⑤H.L. ハスラー「新しい歌をもて」

③379 この世にあかし立てて

⑥F. メンデルスゾーン「小頌栄」

III 会衆賛美指導（高浪晋一）

私たちの向かう先はただ一つ、「主に従い、主を賛美する」ということ。今一度「賛美する」ことについて見つめ直し、「自覚を持って賛美歌を歌う」時間を持ちます。各賛美歌の歌い方についての質問にも応じます。

講師一覧 (50音順。*印は讃美歌委員)

飯 靖子*	(実行委員長／霊南坂教会オルガニスト)
井上 創	(チャプレン／富士見高原教会牧師)
植木紀夫	(カントール・桜美林大学教授)
椎名雄一郎*	(オルガニスト・活水女子大学教授)
志村拓生*	(オルガニスト)
高浪晋一*	(前国立音楽大学助教授)
竹佐古真希*	(弘前学院大学オルガニスト)
松浦光子	(松沢教会オルガニスト)

◆受講料

*全日程受講

選択する実技によって異なります。3日間全プログラム分の受講料です(昼食会、団体保険料を含む)。

I aパイプオルガン	38,000円
I bリードオルガン	35,000円
II 聖歌隊指導	28,000円
III 会衆賛美指導	23,000円

*ゼミのみ受講 8,000円

3つのゼミの中から1つを選び、3日間通して受講します。

追加受講料金	全体レクチャー	1,000円 (当日券の半額)
	合唱のたのしみ	1,000円 (2回分)
	昼食会・90回のふりかえり	2,000円 (要事前申し込み)
	各礼拝、Hymn Festival	無料

◆お申し込みにあたって

*申込締切は7月31日(火)です。お申し込み後のキャンセルは、原則として返金いたしません。

*申込書にご記入の上、下記送付先までご郵送いただき (FAX不可)、あわせて受講料を下記口座までお振り込みください。ご入金の確認をもって受付とします。

〈送付先〉 〒169-0051 新宿区西早稲田2-3-18-41 音楽講習会事務局

〈振込先〉 みずほ銀行 早稲田支店 普通 2040556 讃美歌委員会キリスト教音楽講習会

※必ず参加者ご本人名義でご入金ください。

◆奨学金

毎回の閉会礼拝でささげられる献金を用いた奨学金制度があります。経済的に困難な方、遠方からご参加の方、学生の方など、ご希望の場合はご相談ください。

◆その他

*各礼拝、「全体レクチャー」「Hymn Festival」は受講生以外の方にも公開されます。事前のお申し込みは不要です。「全体レクチャー」は当日券(2,000円)をお求めください。

*会期中、教文館が店出し、書籍・楽譜の販売をいたします。どうぞご利用ください。